



創立30周年記念誌に寄せる

松江市ボランティアセンター運営委員会
委員長 仲野 寛

松江市ボランティア連絡協議会が創立30周年を迎えられますこと、心よりお祝い申し上げます。

この連絡協議会の前身は30年前に多くの先人たちの地域社会への熱い思いのもと、わずか6団体で創設した「松江市ボランティア協会」と聞き及んでいます。その後、昭和から平成へと社会が変遷する中で、地域社会に生起する様々な地域課題や生活課題に取り組むボランティア団体や、福祉活動に携わるグループ・団体も加わり、現在の100団体を超える大きな団体組織に発展し、今では松江市のボランティア活動を推進する大きな原動力となっています。

また、今日、松江市ボランティアセンターが市民の様々なボランティア・ニーズに的確に応えていく上でも、ボランティア連絡協議会の組織的な協力が大きな力となっており、その協力体制には深く感謝しているところです。

このように松江市のボランティア活動の一翼を担うまで発展して来られた連絡協議会においては、創立の礎を築いた方々、多様なボランティア団体を取りまとめて連絡協議会へと発展させた方々、この連絡協議会を代表し地域の関係団体・組織と連携して来られた方々など、今日ここに至るまで、多くの関係者の皆様の大変なご尽力があったものと推察し心より敬意を表するものです。

これから10年、20年と松江市においても、益々少子高齢化、都市化が進展し、新たな地域課題、生活課題が生起してくることも予想されますし、ボランティア活動も小・中学生から高齢者まで、あらゆる世代に広がっていくことが期待されています。次の時代にも、松江市ボランティア連絡協議会には、松江市のボランティア活動推進の中核組織としての活躍とともに、社会的活動を先導する団体として、多くの市民の社会参加への導きと活動の協働も期待されています。

結びに、この協議会が創立30周年を契機に、松江市のボランティア活動を牽引するボランティア団体組織として大きく飛躍し、これまで以上に地域社会で活躍されますよう祈念しております。あわせて、ボランティア連絡協議会の関係者の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ、30周年記念誌発刊の祝辞とさせていただきます。



松江城